

2018.4.21 (土) 自主活動「自然観察」

◆参加者：3名 ◆天候：晴れ、

活動目的：活動エリア内の植生と特定植物の生育状態観察



上段左から→

- 01 ツルカノコソウ (オミナエシ科)：かすかにピンクがかった小さな花が可愛い
- 02 ニシキシダ (イワデンダ科)：葉に白色・紅色斑があるイヌワラビの変種
- 03 ミヤマハコベ (ナデシコ科)：水辺に咲くハコベ、花弁の切れ込みが深いので 10 弁に見える

下段左から→

- 04 ミヤママンネングサ (ベンケイソウ科)：水辺近くを黄金色に染める
- 05 トウゴクサバノオ (キンポウゲ科)：水辺近く、小さな控えめな花が可愛い
- 06 フタバアオイ (ウマノスズクサ科)：徳川家の紋所はこの葉の形から、花が個性的



上段左から→

- 07 シハイスミレ (スミレ科) : 葉の裏が紫色から紫背の名があるスミレ
- 08 ニシキゴロモ (シソ科) : ジュウニヒトエと同じ仲間、紫色の葉脈が美しい
- 09 ヒトリシズカ (センリョウ科) : 白い花穂を静御前の舞姿にたとえた個性的な花
- 10 ラショウモンカズラ (シソ科) : 羅生門で切り落とされた鬼女の腕にたとえてこの名があり、とても個性的

- ・里仁会館から都道202号、常盤林道沿い及び、活動エリア一部について、この時期の植生状態と特定植物の生育状態の観察を行いました。
- ・今年は今までにないような天候異変で植物の生育にも大きな影響があるようで、全体的に開花が例年に比べかなり早いと感じられるものが多く、また、今春は雨が少なく乾燥化によるイワタバコなどの自生数の減少と生育の遅れが懸念されます。

記録：竹中